

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成22年度 第3回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成22年6月23日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 2階 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、末澤委員、 安藤委員、岡田委員、田中委員、廣末委員 計8名	
	そ の 他	鈴木学校支援地域本部コーディネーター	
	事 務 局	牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、松田学校教育室参事、 林教育支援室長、谷社会教育室長、渡瀬中央公民館長、大屋敷子育て室長、 小田中央公民館主幹、河野生涯学習センター所長、小倉青少年支援課長、岡野社会教育室主幹、 片山主任、下邨主事、長船 計14名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	2名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会総会について (2) その他  2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 平成22年度「川西市社会教育委員の会」年間テーマについて (3) 学校教育と社会教育の連携、学校支援地域本部事業について 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

## 審 議 経 過

議長	第3回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 阪神北地区社会教育委員協議会 総会について 平成22年6月17日(水)午後1時30分～ 猪名川町文化体育館、多田銀銅山 議長より報告</p>
議長	<p>2. 議題に入る</p> <p>(1) 第1回議事録について。 (全員承認)</p> <p>(2) 平成22年度「川西市社会教育委員の会」の年間テーマについて。 年間テーマについては、最後に論議したい。</p> <p>(3) 学校教育と社会教育の連携、学校支援地域本部事業について。 学校支援地域本部の現状報告及び問題提起を事務局よりお願いしたい。</p>
コーディネーター	<p>昨年度の学校支援地域本部の事業報告書を配布しております。表紙は、清和台中学校で書写の授業をして頂いた方と、ユースボランティアの作品です。</p> <p>昨年度の活動は、大きく3本の柱に分かれます。</p> <p>一つ目の柱は、ほとんどの小学校でも活動されています学校図書館活動で、昨年度は研修会を年3回行いました。</p> <p>内容はボランティアの域を超え、専門的なことでしたが、学校図書館で活動する者には必要な内容で、受講された方は、各学校で学んだことを活用されています。</p> <p>二つ目の柱は、若い方々の活動で、ユースボランティア連絡会を開催し、参加された方からは、もっと子ども達と関わりたいという声がありました。</p> <p>最後の柱は、学校支援地域本部発足時から課題である教科学習の支援で、これに関しては、実行可能な学校とボランティアに対し、事務局から提案する形で行いました。</p> <p>実現しましたのが、清和台中学校の書写の授業で、事前に</p>

	<p>夏休みの課題に朱を入れて頂いたところ生徒の反応が良く、先生からの要望で1年生の授業に入って頂きました。</p> <p>その他にも明峰小学校の理科の授業や、陽明小学校の採点補助があります。</p> <p>2年間が経過し、学校支援はこの様な活動でいいのか。と思いが出てきましたので、この活動の原点である東京の杉並区立和田中学校の地域本部に連絡を取り、本部長の衛藤さんにお話を聞く運びになりました。</p> <p>座談会形式で実施するため、人数を30名に絞りお話を聞きました。</p> <p>和田中学校の学校支援地域本部は、学校に頼らず、先生と生徒のために動くのがコンセプトです。</p> <p>会議参加者の感想は、和田中学校ではボトムアップで活動が高まっていることが印象的だということです。</p> <p>今年度の川西市学校支援地域本部事業の取り組みですが、やはり、コーディネーターが一人では限界がありますので、学校図書館ボランティアを「ユニットL」を結成して頂き、研修会などを行って頂いています。</p> <p>学習支援の面では、和田中学校の衛藤本部長との座談会に参加して頂いた方からの提案で、緑台中学校で夏休みに英語支援活動の計画が進んでいます。</p> <p>また、若い方と実行委員の方でチームを組み活動を行う計画も進んでいます。</p> <p>この活動が育って行くことを願っています。</p>
議長	<p>昨年度から本年度にかけての現状報告、成果についての報告がありました。学校教育、社会教育の連携の中で学校支援地域本部事業の取り組みに関して感想やご意見などをお願いいたします。</p>
A 委員	<p>学校地域支援本部のことがよく分かりました。</p> <p>どのような方が学校支援地域本部に入っておられるのですか。</p>
事務局	<p>平成20年度に文部科学省よりの3年間の委託事業として、学校支援地域本部に実行委員会を立ち上げ、実行委員長に社会教育委員の会の生田議長になっていただき、実行委員に小中学校長各1名、中央公民館長、社会教育室事務局、社会教育関係の委員を加えています。</p> <p>コーディネーターを中心に活動をし、最終年度である今年度は、実績を残し4年目につなげていきたいところです。</p>
A 委員	<p>はい、わかりました。</p>

議長	<p>私が委員長をしておりますが、全国的な活動ですが、川西独自の部分もあります。</p>
B 委員	<p>私自身学校支援地域本部のボランティアに登録しているのですが、その後どうなっているのか分からない状態で、登録者に情報発信してあげるとよいと思う。</p>
C 委員	<p>文部科学省の委託で、学校や子ども達を支援する目的で事業を行っているが、PTAとの関係は、どのように考えるべきか。</p> <p>和田中学校のPTAは、休会していると聞いているが、地域本部がどんどん発展していくとPTAはなくなっていくのか。</p> <p>この状況をPTAはどのようにとらえているのかを知りたい。</p>
事務局	<p>この事業は、和田中学校が学校危機から出発した事業を参考にしたもので、PTAとの関係については、地域によって異なると思います。</p> <p>当市においては、この事業がスタートし、駆け足での状態で、登録した方にどう学校に入っていたか、手探りでやってきたというのが現状です。</p> <p>この状態を各PTAの方がどう受け止めるかは、今後の課題であると思っております。</p> <p>PTAには、役員会などで説明し、情報の共有はしておりますし、図書ボランティアのほとんどは、過去PTAの役員をしておられた方で、今後、参加して頂けたらいいと考えています。</p> <p>今後の両者の関係については、様子を見ていきたいと考えています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p>
B 委員	<p>友人もボランティアに紹介しましたが、連絡もなく、その友人からその後どうなっているのかと聞かれた。</p> <p>ピンポイントから集団へと言われたが、本部では、分からない繋がりもあると思うので、どのように進んでいるかの情報提供が大事だと思う。</p>
D 委員	<p>当初は、学校支援地域本部も登録した人もどのように動いたらいいのか分からないまま3年目になったと思う。</p> <p>情報発信があれば、賛同者も増え、良かったと思う。</p>

	<p>今後、中学校区でコーディネーターを作れば、動きが密接になると思う。</p> <p>最初の年に、校長先生などに意見を聞かせていただき、学校もボランティアを求めているが、それをどのように繋いでいいか、動けないもどかしさを感じた。</p> <p>中学校区でコーディネーターがおられ、その範囲で纏めていかれたら、いい動きが出来ると思う。</p> <p>P T A活動は、儀式的で、会議も決まっています、子どもと先生方の支援が出来ているのかと疑問に思う。</p> <p>直接の支援は、学校支援地域本部の活動だと思うが、活動が地域に浸透していないので、動けないと思う。</p> <p>今年は、図書に特化し、動ける部分からがんばろうとしていると思う。</p>
B 委員	<p>地域と学校とP T Aとトライアングルで進めていくのが学校支援の目的だと思う。</p>
C 委員	<p>現在ボランティアがどのくらい登録されているのかというのと、その方たちに情報提供をされているか、また図書ボランティアが纏って来たが、十分に機能してないと思っておられる方もあると思う。</p> <p>まず、どのくらい登録がされているのか。</p>
コーディネーター C 委員	<p>ボランティア個人で90弱、団体で30弱です。</p> <p>その方に現状の情報提供しているのか。</p>
コーディネーター	<p>図書ボランティアの方には、活動を始めたので、情報提供を始めているが、その他の方には、活動出来るようになったら情報提供を行う予定です。</p>
B 委員	<p>活動がどこまで進んでいるかとの情報を提供してほしい。</p>
議長	<p>今日、学校支援地域本部の実行委員会があります。</p> <p>当初は、ボランティアを募り、学校と繋がりを持って、活動する予定だったが、学校や地域に差があり、上手く活用出来ていないと思う。</p> <p>学校側にも課題があり、如何に連携していくかがテーマになっている。</p> <p>学校支援地域本部事業の活用について、学校側に認識の差があるのかを事務局に聞きたい。</p>
事務局	<p>学校に対する支援活動には、4つの活動があります。</p>

	<p>P T A、学校いきいき応援団、放課後子ども教室そして学校地域支援本部です。</p> <p>その中で、放課後子ども教室は、教育課程外のため、地域の方からの提案で自由に活動出来るので、活動されていますが、学校地域支援本部は、学校からの要請によって活動して頂くこととなります。</p> <p>学校いきいき応援団も同じで、100人登録しても10人程度が活動しているのが現状だと思う。</p> <p>学校のニーズとボランティアの方のスキルが一致すればいいのですが難しいケースが多く、情報発信が難しいケースもあるが、考えていきたいと思う。</p>
議長	<p>学校支援地域本部と比べると、放課後子ども教室は、情報発信もよく見える。</p> <p>支援の意味では、同じ部分もあると思うが、放課後子ども教室の実態をお聞かせ頂きたい。</p>
事務局	<p>同じ地域の方がボランティアをされてるのに、学校支援地域本部と放課後子ども教室とどこが違うのかとよく聞かれます。</p> <p>学校をサポートするのが学校支援地域本部で、放課後子ども教室は、放課後等に教育課程外で活動と説明しています。</p> <p>今後は、放課後子ども教室が、学校支援地域本部のコーディネーターに人材の紹介をお願いするなどの連携を行っていききたいと思う。</p>
議長	<p>大分整理できたようですね。</p>
事務局	<p>陽明小学校で実施している学習ボランティアによる学習支援、これが和田中学校のメインです。</p> <p>費用負担を求められるのも、P T Aではなく、独立した組織が行っているからです。</p> <p>このイメージが文部科学省の教科学力の支援で、同じ教科学習でも授業に入っていたのが学校支援地域本部、放課後などに行うのが放課後子ども教室です。</p> <p>ただ、学校支援地域本部は、授業の中に入って頂くので、非常に難しい面があります。</p>
D 委員	<p>校長先生などのお話では、学校支援地域本部のボランティアと打合せ時間もなく、人によっては、子どもの態度が悪く怒ってしまい、授業がつぶれることがある。</p> <p>コーディネーターの方が打合せなどをして頂けるのなら、とのお話でしたが、今はそこまで手が回らない、派遣だけで</p>

事務局	<p>精一杯だということでした。</p> <p>中学校区単位でコーディネーターの方がおられたら、学校の要望をボランティアに繋げられると思う。</p> <p>学校支援地域本部の狙いは、先生が子どもと真摯にむきあえる時間を持てるようにすることです。</p> <p>先生方は、授業や事務処理などで忙しくされていますが、隙間時間に折衝を重ねた成果の一つが書写の添削です。</p> <p>隙間時間は、学校や地域によって異なることを考え、ピンポイントでやってきたことを、今後は、ユニットのいう組織体でやっていける入り口に來たことをご理解頂きたい。</p> <p>情報提供の問題ですが、中学校区のブロック単位で情報交換の拠点がほしいと感じています。</p> <p>今年度は、各ブロックで交流して頂くのは非常に有難いと思っています</p>
E 委員	<p>手探りの状態で活動を始められ、3年目でよくここまで来たなと感じます。</p> <p>自発的にユニットが出来あがり、来年度以降に繋がるものだと感じています。</p> <p>各専門分野で、市内に集まり、情報交換できる場があったらよいと思うし、来年度以降も継続しコーディネーターが置かれることが大切だと思う。</p> <p>コーディネーターのマッチングが難しいと思う。</p> <p>各学校が、ホームページで今、こういう方を募集しています。という具体的な募集があったら、学校のニーズにあった方が集まると思う。</p> <p>きちっとしたグループがあれば、全体を任せ、市民活動的に自立し、市民の方が地域のコーディネーターと連携していけるようになったら良いと思う。</p>
D 委員	<p>当初、学校にどのような要望があるかのアンケートを取り、要望があった部活動の手伝いは、活用されていると思うのですが、その後もアンケートを実施されているのですか。</p>
コーディネーター	<p>条件が揃い活動に繋がるまでの時間がかかり、そのもどかしさをお伝え出来ないのが現状です。</p>
議長	<p>私も昨日、コーディネーターの関係で苦慮しました。</p> <p>学校が考えている以上に、ボランティアの方が熱心で、学校に対する思いなどが大きく、学校とボランティアの感覚のずれを感じました。</p> <p>コーディネーターは、とても大変だと感じていますが、こ</p>

F 委員	<p>の事業の国の補助金は今年度で終わります。</p> <p>昨年度のこの会では、来年度以降も繋げて行けるようにコーディネーターの予算化を依頼しましたし、今年度も依頼する予定です。</p> <p>ポイントは、学校が本当に支援を必要としているかどうかです。</p> <p>本校の場合は地域ぐるみの学校がモットーで、地域の人が学校に入って頂き、教師に刺激を与えて貰うのが狙いです。</p> <p>本校は上手くいってますが、普通は地域が校内に入って貰うと困るというのが教員の感覚です。</p> <p>和田中学校の学校支援地域本部の話の中で、教師は関わらず、学校支援地域本部が独自に活動する話がありましたが、本当にそれでいいのかと思う。</p> <p>教師の意識の変革がコアの部分で、地域の方が援助のために学校に入ろうとすると、すごい拒絶反応があると思う。</p> <p>その理由は、教師が普段行っていることに自信がないからです。</p> <p>本校にも抵抗勢力はありますが、その人々が納得するような、学校の風土を作り、せっかくの人材を利用しなければと思う。</p> <p>この事業は、委託事業から補助金の事業に来年からなり、地方交付金で交付されるということになり、他に転用が可能となります。</p> <p>行政からのこの事業に使うという推進力を発揮して頂き、同時に学校からも支援の要望がないとなくなると思う。</p> <p>国の事業仕分けにも上がっており、学校がもっとニーズを発信し、地域の人と成果を共有しないとだめだと思う。</p> <p>教師の意識改革にはもってこいの事業ですので、いい方向にもっていきたいと思う。</p>
C 委員	<p>お互いの情報がつながってといつも思うのですが、支援ボランティアの方には、はがき一枚でもいいので情報発信ができれば良いと思う。</p> <p>実行委員会に傍聴可能なら、案内したら良いと思うし、せっかく協力しようという人の気持ちが繋がるようにすべきと思う。</p> <p>以前に、学校支援地域本部の事業で、ミシンの使い方の研修を受けてから、支援活動に参加したという話がありました。</p> <p>登録されている内容だけでなく、他の内容に対しても支援の依頼をされたら良いと思う。</p>



議長	<p>私も実行委員長をしているのですが、学校支援地域本部は、和田中学校のように学校単位にあるのではなく、市一つなので、動きにも限界があると思う。</p> <p>先ほどの報告でもありましたが精一杯やっていると。学校毎に異なる現状があり、難しい部分があると思う。</p>
C 委員	<p>ボランティアの登録者に情報を届けておけば、今は無理でも、別の時には、協力してもらえらると思う。</p> <p>何の情報提供が無ければ離れていくと思う。</p> <p>本日配布された、図書ボランティアのプリント一枚でも、良いと思うし、現状及び現時点では学校からの要請はないことをお伝えすれば良いと思う。</p>
議長	<p>情報提供については、実行委員会にも論議します。</p> <p>阪神北社会教育委員協議会の時に論議したのですが、学校支援地域本部のみを論議するのが、社会教育委員の会ではなく、社会教育全般を論議するのが社会教育委員の会であるとの論議があった。</p> <p>本日の論議では、具体的な提示・アドバイスなどもありましたので、この会として、事務局などへお願いしていきたい。</p>
A 委員	<p>学校支援地域本部のボランティア申請された方、事務局、学校が上手くかみ合えばよい方向に行くと思う。</p> <p>日本のボランティアの方は、積極的過ぎ、押付的な方が多いと思う。</p> <p>良かったらしますよ。と静かに応援するのが良いと思う。</p>
議長	<p>学校支援地域本部事業は、プラスの方が多いという認識が出来ていると思うので、来年度以降は、国からの金が無くなるが、市の方で、お金をかけずに中学校単位にコーディネーターを設置出来るシステム作りが必要と思う。</p> <p>コーディネーターの研修が必要な部分や学校の現状の問題などを、社会教育機関や学校教育関係が総絡みで施策として打立てていただきたい。</p> <p>そうしないと、ボランティアの活用が主流となり、市長部局の放課後子ども教室が主流になり、学校支援地域本部の教育課程に入って支援を行う部分が出来なくなると思う。</p>
事務局	<p>学校支援地域本部の学習支援では、若い方と実行委員がチームとなって、Team ガクボラとして活動しておりますが、その内容は、緑台中学校のホームページで紹介しております。</p>

D 委員	<p>多くの事業が進んでいますが、その多くは、コーディネーターの方が、よく知っておられる地域となっています。</p> <p>コーディネーターが一人で出来る範囲は限られているので、各学校区でのコーディネーターの配置が望ましいと思う。</p>
議長	<p>私も、各学校区でのコーディネーターの配置が望ましいと思う。</p> <p>ホームページなどを活用し、お金が無くても出来る方向で検討して欲しい。</p> <p>毎年、社会教育委員と教育委員の懇談を持っているが、昨年は、学校運営は校長の力量によるものが大きく、校長が変わったらどうなるのかとの、話題になりました。</p> <p>各学校のホームページを見て頂くと分かるのですが、全く更新していない学校もある。</p> <p>地域の連携の為の資料提供を学校から閉じてしまうのは勿体ない話なのではと、気が付いていたところです。</p> <p>今日は結論を出しませんが、学校教育と社会教育の連携のボランティアの関わり方の論議をさせていただいた。</p> <p>今回は、公民館、中央図書館、生涯学習センター等の社会教育施設の現状、課題について論議したい。</p> <p>なお、頂いている資料の説明及び連絡事項を事務局よりお願いしたい。</p>
事務局	<p>子ども議会、教科書展示会、教育相談活動の報告書について説明。</p> <p>「とびだせ、アウトドア」自然ふれあい講座について説明。</p> <p>平成22年度川西市新指定文化財一覧表について説明。</p> <p>県社会教育委員協議会総会・研修会の出席確認。</p> <p>近畿地区社会教育研究大会の出席確認。</p>
議長	<p>以上で閉会する。</p>